

文部科学省「大学教育再生加速プログラム」平成26年度テーマⅠ・Ⅱ複合型 選定

文部科学大臣認定「理工学教育共同利用拠点」教育イノベーション推進センター
平成28年度 教育関係共同利用拠点(大学の教職員の組織的な研修等の実施機関)

入場
無料

芝浦工業大学 2016年度APシンポジウム

アクティブ・ラーニングによる 理工学人材育成と 成果の可視化

課題と実践事例

2016.12.17 土 14:00
17:00

会場 芝浦工業大学 | 東京都港区
芝浦3-9-14
芝浦キャンパス 8F 802教室(情報交換会 芝浦キャンパス7F 校友会倶楽部)

社会で求められる理工学人材の育成のために大学
が実施すべき教育改革に関し、大学教育再生加速
プログラム(AP)事業の取り組み事例を元に議論、
意見交換することにより、理工系人材育成に資する
教育改革の加速に役立つ情報を共有します。

PROGRAM

開会挨拶 学長 村上 雅人

基調講演

「大学教育再生加速プログラム(AP)「高大接続改革推進事業」について」

文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室 改革支援第二係長 河本 達毅 氏

芝浦工業大学のAP取組み報告

井上 雅裕 教授(学長補佐、教育イノベーション推進センター IR部門長、システム理工学部 教授)

各大学のAP取組み紹介

金沢工業大学 青木 隆 教授(修学基礎教育課程)

東京電機大学 汐月 哲夫 教授(教育改善推進室副室長、未来科学部)

福岡工業大学 松尾 敬二 教授(教務部長、工学部電気工学科)

パネルディスカッション

「人材育成に役立つ実践事例とその課題」

パネラー 金沢工業大学 青木 隆 教授

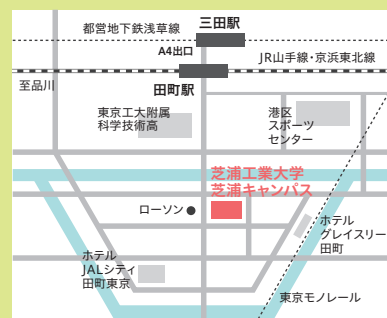
東京電機大学 汐月 哲夫 教授

福岡工業大学 松尾 敬二 教授

芝浦工業大学 長谷川 浩志 教授(教育イノベーション推進センターキャリア教育部門長、システム理工学部)

モデレーター 米田 隆志 副学長、教育イノベーション推進センター長

ACCESS



JR山手線・京浜東北線田町駅芝浦口より徒歩3分
都営地下鉄三田線A4出口より徒歩5分

キャンパス内に駐車場がございませんので、
お車でのご来場はご遠慮ください。

主催 芝浦工業大学

お問い合わせ先

芝浦工業大学 豊洲学事部 大学企画課

E-mail kikaku@ow.shibaura-it.ac.jp

Acceleration Program
大学教育再生加速プログラム

▶ 右記URLからお申し込みください。 <https://fs223.formasp.jp/h777/form8/>



芝浦工業大学
SHIBAURA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

プログラム

14:00 開会挨拶 学長 村上 雅人

14:05-14:30 基調講演
「大学教育再生加速プログラム(AP)「高大接続改革推進事業」について」
文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室 改革支援第二係長 河本 達毅 氏

14:30-15:00 芝浦工業大学のAP取組み報告
芝浦工業大学 井上 雅裕(学長補佐、教育イノベーション推進センター IR部門長、システム理工学部教授)
テーマⅠ(アクティブ・ラーニング)・Ⅱ(学修成果の可視化) 複合型選定

取組概要 建学の理念の下、学生の主体的な学びを促し、学修成果の可視化の為に取組を行う。
学長をリーダーとする教職学(学生)協働の組織的な体制のもとで、体系的なアクティブラーニング(AL)の改革、学修成果の可視化と学修時間の保証、教育改革の推進体制の強化を実現する。

各大学のAP取組み紹介

15:10-15:25 金沢工業大学 修学基礎教育課程 青木 隆 教授
テーマⅠ(アクティブ・ラーニング)・Ⅱ(学修成果の可視化) 複合型選定

取組概要 更なる学生の能動的な学修の促進と学修意欲向上を目指すために、正課と正課外の学修を密接に連動させ、「チームで取り組む問題発見・問題解決型教育」を基盤とした全学的なアクティブ・ラーニングを展開し、正課と正課外の活動を可視化しながら、学生の能動的な学びの場としてのアクティブでオープンなキャンパスを形成する。

15:25-15:40 東京電機大学 教育改善推進室副室長、未来科学部 汐月 哲夫 教授
テーマⅠ(アクティブ・ラーニング)・Ⅱ(学修成果の可視化) 複合型選定

取組概要 本事業は、東京電機大学がこれまで構築してきたPDCAの教育枠組をベースに、「技術で社会に貢献する技術者」に必須の知識・能力を修得させる教育体制構築のため、下記4点に注力して実施するもので、未来科学部の活動を基とし、成果を全学に普及させるものである。
1.(教育枠組1) PDCAサイクル実質化のため、汎用的能力の評価ができるルーブリックを、米国VALUEルーブリックを参考に開発・普及
2.(教育枠組2) 授業外学修時間増加のための反転授業導入とその運用手法の開発・普及
3.(教育内容) 教育目標の知識・能力を学生に効果的に修得させられるPBLおよびアクティブ・ラーニング手法の開発・普及
4.(教員教育力) 教員教育力向上のための教員評価制度の構築

15:40-15:55 福岡工業大学 教務部長、工学部電気工学科 松尾 敬二 教授
テーマⅠ(アクティブ・ラーニング) 選定

取組概要 本事業は、福岡工業大学の人材育成目標(「自律的に考え、行動し、様々な分野で創造性を発揮できるような人材(実践型人材)の育成」)を達成するため、大学の教育改革のフレームに「教授方法の質的転換」を加え、その具体的方策としてアクティブ・ラーニングの全学的展開を推進、学生の「知識定着」と「能動的な学修態度の涵養」の実現を図ろうとする取組である。

16:00-17:00 パネルディスカッション
「人材育成に役立つ実践事例とその課題」
パネラー 金沢工業大学 青木 隆 教授、東京電機大学 汐月 哲夫 教授、福岡工業大学 松尾 敬二 教授、
芝浦工業大学 長谷川 浩志(教育イノベーション推進センターキャリア教育部門長、システム理工学部 教授)
モデレーター 副学長 米田 隆志(教育イノベーション推進センター長)

17:00 閉会挨拶 副学長 守田 優

17:10- 情報交換会 (会費2,000円)

進行 坂井 直道(教育イノベーション推進センター教授)

会場までのACCESS

電車利用の場合



羽田空港からの場合

